



Higashimurayama City International Friendship Association

東村山市国際友好協会 第130号



東村山市
市民のホストファミリー宅に
ホームステイ

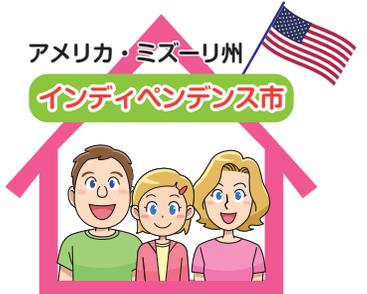
姉妹都市の交流が再開します!!

ホストファミリー

募集

第36回派遣学生

東村山市と米国インディペンデンス市(イ市)は、1978年以來
両市の学生や市民が訪問し合っ、姉妹都市交流を続けています。
今年は、学生の交流が再開します。



アメリカ・ミズーリ州
インディペンデンス市
市民のホストファミリー宅に
ホームステイ



イ市の東村山通り



イ市でホストファミリーと

インディペンデンス市にホームステイしませんか

- ・今年8月の2週間、学生(9名)の派遣団員としてイ市の家庭にホームステイしませんか。(引率者2名)
- ・安心してアメリカの家庭生活が体験できます。
- ・事前に説明会や研修会があります。
- ・募集期間 2月1日~3月11日
派遣期間 8月3日~18日、費用(約29万 渡航費)
- 派遣生(市内在住・在勤・在学の方) 中学3年生~23歳
- 引率者 25歳~65歳
- ・申込・問合せ 市民相談・交流課
- 詳しくは市報(2/1号)または当協会HPまで



イ市での
新しい体験

学生のホストファミリーになりませんか

- ・今年6月にイ市から学生8名(引率者2名)が当市を訪問します。2週間ご自宅に泊めて一緒に過ごしませんか。
- ・友情が深まり、生の英会話の交流ができます。
- ・募集期間 1月30日~2月28日
滞在期間 6月7日~21日
- 事前説明会 2月17日 午後7時半より
- ・申込・問合せ 市民相談・交流課
- 詳しくは市報(1/15号)または当協会HPまで



丸山ファミリーとレストランにて

令和6年度前期英会話講座の受講生を募集します

- ・会期 4月10日(水)~9月18日(水)(全20回!)
- ・会場 市民センター・中央公民館
- ・講師 各クラスとも英語を母国語とする英・豪出身の方
- ・募集人数 初級(2クラス)・中級(2クラス)とも各クラス20名
- ・費用 受講料(13,000円)、テキスト代(実費)と友好協会年会費(一般2,000円、学生1,000円)
- ・申し込み方法 3月1日~8日(消印有効)までに必要事項(市報参照)記入のうえ往復はがきで
- *詳しくは市報(2/15号)または当協会HPまで



井上ファミリーと



丸山ファミリーと



阿久津ファミリー



ジョーンズファミリー

私がこの交流会に参加しようと思った理由は母から勧められたことがきっかけです。元々海外について興味があり、英語力向上にもつながると考えたため参加しました。

初めはメールで何回か連絡を取り合った後、インスタグラムを交換しました。その後は、インスタグラムにお互いの日常をアップしたりして交流をしました。交流相手であるジョーンズ家のスカーレットちゃんとはメールでのやり取りを続けています。年の差もあり、交流するにあたって不安もありましたが、とても優しい子でメールするのが楽しいです。お互いのおすすめの本を紹介したりもしました。交流は12月までですが、その後もやり取りを続けていきたいと考えています。とても良い経験ができ、機会があればアメリカに留学したいと思っています。

オンライン交流

阿久津愛

会員募集中!!

東村山市国際友好協会は両市の交流を進めるボランティア団体です。
年会費 一般会員 2,000円、学生会員 1,000円、賛助会員一口 10,000円から

問合せ先 市役所内 市民相談・交流課 042-393-5111



2023年
12月9日



会員の親睦を図るクリスマスパーティーを4年ぶりに開催

70余名の参加者は久々の再会を喜び合い、テーブルに並べられた料理を楽しみ、歓談しました。産業まつりに出店して好評だったポップコーンもその場で作り、出来立てを提供して喜ばれました。



場所：サンバルネ
コンベンションホール



当日の出し物はお笑い芸人「グータン森山」によるギター漫談と4人組の管楽器バンド《ムジカル》でした。グータン森山さんは2010年の派遣生です。「お題をいただいて即興で曲を作って歌う」という趣向で、東村山ならではの「志村けん」や「渡部市長」といったお題が出され、見事に仕上げた笑いを取っていました。また、《ムジカル》はクリスマスソングや昭和歌謡を演奏し、会場を盛り上げてくれました。

お待ちかねのゲームは全員参加のじゃんけん大会です。勝ち抜いた12人は福袋をゲットできるとあって皆さん真剣でした。大盛り上がりのうちに会は終了となりました。



《ムジカル》の演奏



皆でじゃんけん大会



グータン森山さん



ポップコーンと軽食



英会話 Cameroon 講師

今電車に乗ると、車内ではマスクをする人としらない人の両方が見受けられる。ようやく普通の生活が少しずつ戻ってきたようだ。今まで当然のこととしての当たり前の生活がこの数年間失われてしまったが、失って初めて、「当たり前」の有難さに気付いた。姉妹都市交流に関わってきた、この当たり前の生活が国によって異なることを何度も実感した。たとえば、かつてイ市を訪ねて家のドアを開けたとき、玄関がなく、靴のまま部屋に入ること戸惑った。こちらでは、玄関で靴を脱いで部屋に入るのが当たり前なのに。食事の時こちらで

コーヒーブレイク

は箸を使うのに、むこうではフォークやナイフが当たり前。当市を訪問するイ市の学生は、来る前に箸の持ち方など、日本の文化について予習してくるとのこと。これは国によって文化が違うので、当然のことと思われる。文化は、その土地に生きている人々が生み出して、時代を経て、人から人へと伝えてきたもの。文化は日常の暮らしの中に深く溶け込んで、当たり前のこととして伝わり続けていく。外出する時に、マスクをしなくても済む。そんな当たり前がまた戻ってくることを切に願っている。(Y・M)



スピーチを終え笑顔の発表者

多言語スピーチ大会

12月16日(土)、市民センターで多言語スピーチ大会が開催されました。子ども日本語教室に通う小学生4人を含む外国人8人による日本語での発表と、日本人参加者6人の英語・中国語・

お知らせ



原島征子さん

○令和6年度総会
5月18日(土)午後から市民センターで開催。今回は総会終了後の懇親会も行う予定です。

編集後記

『凄いでニッポン!』等のキャッチフレーズにはじまり、新型コロナ禍の収束とともに『インバウンド』が復活する中、他方で世界情勢に目を向ければ、ウクライナやパレスチナで悲惨な状況が続いています。国際交流の小さな地域活動ですが、平和と交流の大切さをいっそう発信して行きたいものです。

人と人



発行：東村山市国際友好協会
編集：広報委員会

東村山市本町 1-2-3
東村山市役所内
☎393-5111 内線3313
https://www.h-ifa.com/